

【 事業所名 】 児童発達支援センターG I F T

【対象サービス】 児童発達支援・放課後等デイサービス

ガイドラインに基づく事業所評価の集計結果表

チェック項目	評価点数 (高→低)					改善目標・工夫している点など
	5点	4点	3点	2点	1点	
1 療育内容の改善に職員全体が参画できているか	3	11	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人に合った個別の支援方法を職員で話し合い共通理解して療育できるようにコミュニケーションを増やしていきたい。 業務分担任しながら仕事をしているが、勤務時間内に終わらせるためにバタバタ感がある。 全スタッフがそれぞれのできる範囲で行なっている。しかしそれぞれの勤務時間や勤務体制の観点より時間が取れなかったり別業務に追われることが多くありメインで行なうべき業務に追いついていないと感じることがある。 各グループで活動会議の時間を設けて活動内容の充実が図れるよう工夫している。意見を出しているスタッフと出していないスタッフ間の差があるのでどのスタッフも少なくとも一つは案が出せるようになるとういことを考える。 クラス毎の会議の時間が定期的に設けられているのでその際に活動案等を提案しスムーズな活動決めにできるよう心がけていきたい。 振り返りをする。知り得た情報をLINEワークスに挙げている。 反省会にて情報を共有し良い点は次回に繋げ改善点は意見アイデア等を出し合っている。 児童対応や環境面について反省で意見を出し合い、改善策を話し合っている。
2 保護者様の意向等を把握し子どもの状況や課題について保護者様と共通理解を持ちながら、支援内容の改善に努めているか	4	12	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様のニーズを確認しながら療育しているが全部を把握しきれではないのでこまめに先生方と再確認し合いながら支援方法を考えていきたい。 個別支援計画書の確認を行なっている。 会議録などを情報共有することにより保護者様の意向を把握し支援内容の検討をしている。 ニーズについては会議録やミーティングにて共有するようにしている。意識して対応や活動へ反映できている点もあればまだできていない点もある。 会う機会の少ない保護者様には電話連絡に努めている。 子どもの状況に応じて課題等を改善しているが保護者様との共通理解を持っていないとは限らない。 モニタリング等で保護者様と会える時には課題点の共有がしやすいがモニタリングの期間が空いてしまう時には確認がしづらい。必要に応じて保護者様や送迎時に園に状況を尋ねたり相談員さんに連絡を入れて状況を把握している。 保護者様と話す機会がある場合には家庭での様子や困り感などを聞き共通理解を図っている。 保護者様からの質問などに対し丁寧に回答している。 提供記録の返信メールの内容やモニタリング時の保護者様からの情報を共有している。
3 アセスメントから子どもと保護者様のニーズや課題を分析した上で個別支援計画を作成し、定期的にモニタリングをしながら計画見直しが行われているか	10	7	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画を作成する前の意見をもっと沢山出せるようにしたい。 現状を伝えるための報告書を作成しモニタリングを通し次の目標設定を行っている。 モニタリング時の内容は職員へ共有し保護者様の最新ニーズや課題等を把握している。 アセスメントシートに加え電話や対面での聞き取り情報を加えたり、LINEワークス上で上がった点を反映できている。 個別支援計画の作成に伴い児童の課題や保護者様のニーズの再確認をしている。 本児の強みや向上すべき点をLINEWORKS上に各職員から記入してもらうことで現場からの声が取りやすくなりお子さんの強みや課題の整理や修正ができるようになった。しかし、記入をする職員はほぼほぼ決まっているため朝礼や反省等の時間帯にアナウンスしていく。 一部の職員に作業が集中しているためなるべく多くの職員の意見を聞くようにしている。 職員間で細かい事の伝達や使用している支援グッズ絵カードなどもラインワークスに上げて頂き共有している。 目標設定などは保護者様からの聞き取りや活動の様子を共有し合いの様子を共有を行い計画に反映できるようにしている。
4 支援提供の前後には職員間でミーティングをし、その日行われる支援内容・役割分担の確認や支援の振り返り等を行っているか	9	7	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りで意見が出た時に詳しく助言や意見ができるように心がける。(意見を言う人がいたい決まってきたりしている) infoを組み事前に役割を決めておき個に応じた課題設定や準備をしている。 意図して内容や支援の振り返りを行いより適切な支援方法を話し合っている。 準備などの役割分担をより明確にすることで準備の遅れや迅速な片付け準備ができるとうい。 行っている時間が関係で細かいところまでは行わないのが難しい時がある。 infoでの振り返りに加えてミーティングで活動確認できている。 日々の反省会にもとづき適宜会議をする。・日常のコミュニケーションとして行っている。 たまたま送迎等で十分に確認ができていないことがあるので時間に余裕を持って行っていく。 朝礼の際に課題内容や振り返り等の確認を行っており休みが出た際にはすぐにLINEWORKSにて共有し修正等行っている。 同じ児童に同じ職員が担当に付きLINEWORKSのノートへのコメントへ情報を書く。 反省会やラインワークスのコメント欄に情報を記載し共有しており具体的な仕事の分担も行われている。 反省で出た意見やLINEワークスでの様子の共有やポイントについてスタッフ間での申し送り等意識するようになっているが活動や課題内容などよりつめられるような情報共有の時間を作れるとうい。
5 日々の支援に関して正しく記録をとり、支援の検証・改善につなげているか	6	10	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 支援を行い改善が必要な時はその都度他の支援方法を考え実行している。またその支援方法は他の職員から見てもどう思うかなど意見を聞いて行っている。 前に担当で支援に入った職員に聞いた情報を収集する。・メモを取るようにしている。 記録やLINEWORKSにより記録をとり職員間で情報共有している。支援内容に関する改善目標として1年を通し成長点を客観的に伝えられるように各活動における評価内容などをまとめていく。 記録を管理職が確認し修正があれば書いた人へフィードバックしている。 短時間で質の高い記録をする。・支援の記録に関しては正しく記入するよう心がけている。 課題点は足りなくできていない点や強みも入力するように心がけている。また支援記録を保護者様へメール送信する前に情報が少なく保護者さまに伝わりづらいついと感じた際には担当の職員に状況確認し追記、修正している。 保護者様への記録やラインワークスのinfoに記載し反省会の記録を実施。活動内容についてはクラス別に記録。 クラスのスタッフ同士でも会話しながら情報共有の時間をとるようにしている。クラスのスタッフが全員揃っていたり時間に余裕をもって話し合いができるともとういと感じる。
6 学校や園、その他関連機関との情報共有(就学支援等を含む)や連絡調整を適宜行っているか※学校・園への送迎時の対応も含む	10	7	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> その場で全て答えようとするのではなく一旦持ち帰り話し合った結果を伝える。 すぐにLINEWORKSへ打ち込み情報共有する。 園への送迎時に子供さんが成長されてきた点や課題点などを情報共有している。 利用に関することはこまめに相談員さんや園などへ連絡ができている。 相手に電話が繋がらないうちに連絡を行う。 送迎時にその日の様子等を細かく伝えられるようにポイントの職員より申し送りを受けている。たまたま申し送りが不十分な時があるので気をつけたい。 療育中の気になる言動がある際にはその旨伝え園や学校での様子を尋ねる。また、訪問支援を活用して園や学校での様子を把握してもらうように訪問支援員に伝えるようにしている。 保育所等訪問の担当の職員が担当児童の送迎に行く。 情報をラインワークスや朝礼で共有している。 先方の状況をみながらではあるが話せる時には話そうようにしている。(相手がバタバタしているときには要点のみ伝えるなど配慮している)
7 保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対する助言等を行っているか	5	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様の負担になったり一方的にならないよう伝え方をよく考えるようにしている。 療育後の記録にて子供さんの状況(課題点)をお伝えし対応内容まで記載。日常生活動作や運動面におけるサポートなどより細かく支援していけるよう改善していく。 対応については質問事項に応じて専門職の意見を確認しお伝えするようにしている。また保護者様へ情報提供する場合は物品であれば現物をお見せし使い方もお伝えしている。単独ではあるが送迎やモニタリングなどでの対面の機会に情報できていることも多い。 送迎時や電話での保護者様へ聞き取りを行っている。・地域の実情を知る。 助言等に関しては個人だけの意見にならないよう全体で周知して意見を聞くように心掛けている。 療育でうまくいった支援方法や視覚支援の提示等を保護者様にも提案している。 保護者様のニーズに合わせて資料等を作成し分かりやすく伝えるよう工夫している。 同じ職員が対応をし対応結果は職員全体へ共有している。 研修参加や本などで自己学習を行うことを意識するようになっている。
8 保護者様からの苦情について、対応の体制を整備すると共に保護者様に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	6	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 報告や相談を行い適切な対応を心がけている。 LINEWORKSや朝礼懇話会で共有し迅速に対応している。 何か起こった際には全体像を掴むためすぐに関係者に状況確認および整理して丁寧に保護者様へ対応できるようにしている。 会議の時間を設けて対策を考えてすぐ周知するよう心がけている。 苦情の内容や状況確認をし保護者様へ説明を行い職員間で再発しないよう啓発している。 その場での対応を心がけている。 朝礼にて報告があり情報を共有し苦情が実際にあった場合は伝達方法について役職者より指導をしてもらっている。 状況の把握と対策について考えたり話し合う機会が設けられている。
9 ヒヤリハットや事故報告書を作成・共有し、事業所内での再発予防に心がけているか	13	5	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 同じ事ができるだけ起こらないよう対策をすぐに実践するようになっている。 毎日朝礼で前日に起きた事故があれば情報共有している。 事故報告書については発生事例が少ないが起きた際には当日～翌日までは必ず書類作成してもらうようになっている。朝礼の際に毎朝、確認して起きたことについては状況と対策について確認し合っている。
10 職員の資質向上のための法人内での研修会が定期的に行われているか	14	2	2	0	0	
11 災害発生時に備えた訓練や身体拘束・虐待防止の研修等を定期的(年1回程度)に行っているか	14	3	1	0	0	